シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	観光総合知識 A		
必修選択	選択	（学則表記）	観光総合知識 A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	北海道観光ハンドブック		出版社	（一社）北海道商工会議所連合会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	北海道の観光を理解する 観光客を親切にもてなす力を身につける
到達目標	北海道観光マスター検定に合格することができる
評価基準	授業態度 50%　テスト 2 回　50%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	北海道観光マスター検定
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	辻川　千尋　　実務経験　○
実務内容	旅行会社勤務 9 年、添乗員 7 年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	基礎知識・北海道観光マスター検定とは
2	観光地①	観光地（道央圏）
3	観光地②	観光地（道北圏）
4	見学	大通公園などの観光資源
5	観光地③	観光地（道南圏）
6	観光地④	観光地（オホーツク圏）

7	観光地⑤	観光地（釧路・根室圏）
8	見学	北海道さっぽろ観光案内所
9	観光地⑥ テスト	観光地（十勝圏） テスト 1 回目
10	知識①	北海道の遺産・歴史
11	実践・企画	HAC「若者の翼」応募
12	知識②	北海道の祭り
13	知識③	北海道の自然
14	知識④ テスト	北海道の交通網と交通機関 テスト 2 回目
15	発表・討論会	夏休みの体験発表

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	観光総合知識 B		
必修選択	選択	（学則表記）	観光総合知識 B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	北海道観光ハンドブック		出版社	（一社）北海道商工会議所連合会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	北海道の観光を理解する 観光客を親切にもてなす力を身につける
到達目標	北海道観光マスター検定に合格することができる
評価基準	授業態度 50%　テスト 2 回　50%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	北海道観光マスター検定
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	辻川　千尋　　実務経験　○
実務内容	旅行会社勤務 9 年、添乗員 7 年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	見学	オータムフェスト
2	検定対策	北海道観光マスター検定対策
3	検定対策	北海道観光マスター検定対策
4	検定対策	北海道観光マスター検定対策
5	検定対策	北海道観光マスター検定対策
6	検定対策	北海道観光マスター検定対策

7	検定対策 テスト	北海道観光マスター検定対策 テスト 1 回目
8	発表・討論会	北海道の観光をみんなで考える
9	見学	狸小路
10	発表・討議	狸小路の活性化（討議・発表）
11	講義・討議	観光でまちおこし
12	知識⑤	観光の実践
13	知識・討議⑥	観光の実践
14	見学	さっぽろ雪まつり
15	総まとめ テスト 4 回目	おもてなしの心とは テスト 2 回目

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	英語検定対策ⅡA		
必修選択	選択	（学則表記）	英語検定対策ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	はじめて受ける TOEIC		出版社	アルク	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	英語の実践力を身につける
到達目標	英語に磨きをかけ、TOEIC で自己ベストを出すことができる
評価基準	定期テスト 50%、授業態度 20%、小テスト 30%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	TOEIC 検定
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	富田 亜矢　　実務経験　○
実務内容	英会話スクール 10 年、専門学校 15 年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	自己紹介、英検について、到達目標について
2	初回テスト	初回テスト実施、目標設定
3	DAY1	筆記・解説
4	DAY1	ライティング・解説
5	DAY1	リスニング・解説
6	DAY1	復習テスト①

7	DAY2	筆記・解説
8	DAY2	ライティング・解説
9	DAY2	復習テスト②
10	DAY3	リスニング・解説
11	DAY3	復習テスト③
12	前期テスト	前期テスト
13	模試	模試試験
14	模試	模試試験
15	解答解説	解答解説

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	英語検定対策ⅡB		
必修選択	選択	（学則表記）	英語検定対策ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	はじめて受ける TOEIC		出版社	アルク	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	英語の実践力を身につける
到達目標	英語に磨きをかけ、TOEIC で自己ベストを出すことができる
評価基準	定期テスト 50%、授業態度 20%、小テスト 30%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	TOEIC 検定
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	富田 亜矢　　実務経験　○
実務内容	英会話スクール 10 年、専門学校 15 年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	前期の振り返り	前期で行った内容をふり返り検定への準備を行う
2	DAY7	筆記＆リスニング対策
3	DAY7	筆記＆リスニング対策
4	過去問④	模擬試験
5	解答解説④	解答解説
6	過去問⑤	模擬試験

7	解答解説⑤	解答解説
8	過去問⑥	模擬試験
9	解答解説⑥	解答解説
10	後期テスト	後期テスト実施
11	リスニング対策	模擬試験
12	過去問⑦	模擬試験
13	解答解説⑦	解答解説
14	振り返り	1 年間の振り返りと実際に使える英語対策
15	振り返り	1 年間の振り返りと実際に使える英語対策

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	観光英会話ⅡA		
必修選択	選択	（学則表記）	観光英会話ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	ツアーコンダクターの英語		出版社	ＪＴＢ総研	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	添乗業務のシチュエーション別実践英会話を学ぶ
到達目標	添乗英語の特徴と英語が必要な場面を理解し簡単な会話ができる
評価基準	授業態度 50% 小テスト 50%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	インバウンド接客英語検定
関連科目	英語検定対策ⅡA
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	Darcy Lewis　　実務経験　○
実務内容	英会話講師

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ 到達目標について
2	Lesson 1 In the Airplane①	機内で
3	Lesson 1 In the Airplane②	Plus supplement
4	Lesson 2 Arrival at the airport①	空港到着
5	Lesson 2 Arrival at the airport②	Plus supplement
6	Lesson 3 At the Hotel①	ホテル 1

7	Lesson 3 At the Hotel②	Plus supplement／テスト
8	Lesson 4 Hotel 2①	ホテル 2
9	Lesson 4 Hotel 2②	Plus supplement
10	Lesson 5 Free Activities 1①	予約、自由行動など
11	Lesson 5 Free Activities 1②	Plus supplement ／ テスト
12	Lesson 6 Free Activities 2①	バス、写真など
13	Lesson 6 Free Activities 2②	Plus supplement
14	Lesson 7 At the Restaurant①	注文、メニューなど
15	Lesson 7 At the Restaurant②	Plus supplement／テスト

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	観光英会話ⅡB		
必修選択	選択	（学則表記）	観光英会話ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	ツアーコンダクターの英語		出版社	ＪＴＢ総研	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	添乗業務のシチュエーション別実践英会話を学ぶ
到達目標	添乗英語の特徴と英語が必要な場面を理解し簡単な会話ができる
評価基準	授業態度 50% 小テスト 50%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	インバウンド接客英語検定
関連科目	英語検定対策ⅡB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	Darcy Lewis　　実務経験　○
実務内容	英会話講師

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ到着目標について
2	Lesson 1 In the Airplane	機内で
3	Lesson 1 In the Airplane	Plus supplement
4	Lesson 2 Arrival at the airport	空港到着
5	Lesson 2 Arrival at the airport	Plus supplement
6	Lesson 3 At the Hotel	ホテル 1

7	Lesson 3 At the Hotel	Plus supplement／テスト
8	Lesson 4 Hotel 2	ホテル 2
9	Lesson 4 Hotel 2	Plus supplement
10	Lesson 5 Free Activities 1	予約、自由行動など
11	Lesson 5 Free Activities 1	Plus supplement ／ テスト
12	Lesson 6 Free Activities 2	バス、写真など
13	Lesson 6 Free Activities 2	Plus supplement
14	Lesson 7 At the Restaurant	注文、メニューなど
15	Lesson 7 At the Restaurant	Plus supplement／テスト

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ユニバーサルサービス		
必修選択	選択	（学則表記）	ユニバーサルサービス		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	ユニバーサルサービス基本テキスト		出版社	日本能率協会マネジメントセンター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	様々な身体の特長を持つ方を知り、体験を通し、幅のあるサービスができるようになる		
到達目標	障害や、加齢、妊娠などによる身体の変化を知り、体験をすることで、 どのような方にも快適なサービスが提供できるようになる		
評価基準	授業態度 60％ 実技試験 40％		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	サービス介助士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	河合 静香	実務経験	○
実務内容	看護士		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 人の命とは？	人間が産まれてくる過程を理解し、命の尊さを知る
2	人が育つということ	妊娠してから成長するまでどのような過程があるのか 妊婦体験
3	障害とは？	障害とはどんなことを言うのか理解する
4	耳が聴こえない世界	耳が聴こえない体験を通じて難聴がある方への介入方法を知る
5	目がみえないとは？	目が見えない体験を通し、視力障害があるかたへの介入を知る

6	四肢障害	車イスを使った実習実施
7	体験を通して①	体験を通して、様々な身体の特長を持った方への介入方法を考える
8	体験を通して②	ホテルや空港で起きやすい事象と、その対応方法を考える
9	振り返り	これまでの振り返り
10	高齢者とは？	高齢者の身体的特長を知る
11	高齢者への関わり	高齢者の身体的特長を理解した上での介入の方法とは？
12	外国人観光客への対応①	日本語が伝わらない方に、どのようなサービスができるのか考える
13	外国人観光客への対応②	外国人への、対応、サービスの実践。
14	総復習	今までの総復習
15	まとめ	学んだことのまとめ、振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	インバウンド接客中国語 A		
必修選択	選択	（学則表記）	インバウンド接客中国語 A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	基礎からレッスン 初めての中国語		出版社	アルク	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	中国語が好きになり、積極的にアウトプットが出来るようなる
到達目標	発音の基礎を学び、自信を持って検定に臨める能力が身についている
評価基準	小テスト・期末テスト：40％ 提出物：30％ 授業態度・出席：30％
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	インバウンド接客中国語検定
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	千葉 未華　　実務経験　○
実務内容	JR 北海道札幌駅インバウンド専用カウンタースタッフ 3 年勤務 訪日インバウンド旅行会社 台湾担当 6 年勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標等について 授業の参加方法などの説明・中国（語）についての意識調査
2	ステップ 1-第 1〜3 課	中国語発音（声調・母音①単母音）
3	ステップ 1-第 5〜6 課	中国語発音（母音②複母音・鼻母音）
4	ステップ 1-第 4 課	中国語発音（子音①唇音・舌尖音・舌根音）
5	ステップ 1-第 4 課	中国語発音（子音②舌面音・そり舌音・舌歯音）
6	ステップ 1-第 7 課	中国語発音（軽声・声調変化・発音表記について）

7	ステップ 2-第 1〜5 課	基本・初対面・別れ・再開のあいさつと返事のことば
8	ステップ 2-第 6〜10 課	食事のあいさつと感謝・おわび・お祝い・感情を表すことば
9	ステップ 3-第 1〜6 課	自己紹介・状態を伝える際に必要な表現
10	ステップ 3-第 7〜12 課	所有・存在の表現、疑問詞疑問文、時間詞の表現
11	ステップ 3-第 13〜17 課	能願動詞と好みを伝える表現
12	ステップ 3-第 18〜22 課	二重目的語、前置詞、進行表現、様態補語、丁寧な依頼
13	ステップ 3-第 23〜25 課 ステップ 4-第 4,5 課	完了、経験伝える表現、禁止表現 ホテルで使える単語・フレーズ
14	前期末試験	テストを実施する（筆記、聴解、会話）
15	課外学習（案）	実際に外へ出て中国の物、中国語にふれてみる

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	インバウンド接客中国語 B		
必修選択	選択	（学則表記）	インバウンド接客中国語 B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	基礎からレッスン 初めての中国語		出版社	アルク	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	中国語が好きになり、積極的にアウトプットが出来るようになる
到達目標	発音の基礎を学び、自信を持って検定に臨める能力が身についている
評価基準	小テスト・期末テスト:40％ 提出物:30％ 授業態度・出席:30％
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	インバウンド接客中国語検定
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	千葉 未華　　実務経験　○
実務内容	JR 北海道札幌駅インバウンド専用カウンタースタッフ 3 年勤務 訪日インバウンド旅行会社 台湾担当 6 年勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標等について 目的意識の確認と最後に行う発表会について考えてもらう
2	復習・必要用語単語の学習	前期までの復習及び後期開催の試験に向けて必須の語彙やフレーズを学習する
3	特化テキスト第 1 課 部屋の予約接客	ルームの予約を受ける時に必要な中国語を学ぶ
4	特化テキスト第 2 課 チェックイン	お客様がチェックインする際に必要な中国語を学ぶ
5	特化テキスト第 3 課 客室係の接客	お客様に部屋の案内をするのに必要な中国語を学ぶ
6	中間テスト	テキスト第 1～3 課までの復習

7	特化テキスト第 4 課 ルームサービス	ルームサービスをする際に必要な中国語を学ぶ
8	特化テキスト第 5 課 要望・トラブル対応	客層を把握し、迅速に対応する為の中国語を学ぶ
9	特化テキスト第 6 課 チェックアウト	お客様がチェックアウトをする際に必要な中国語を学ぶ
10	期末テスト	テキスト第 4〜6 課までの復習及び総まとめのテスト
11	試験対策①	必要に応じて発表・試験のサポートを行う
12	試験対策②	必要に応じて発表・試験のサポートを行う
13	試験対策③	必要に応じて発表・試験のサポートを行う
14	課外授業②	実際に外へ出て中国の物、中国語にふれてみる
15	小発表会	中国に関して自身が興味を持った事をピックアップし、皆に発表する

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	観光プロデュースA		
必修選択	選択	（学則表記）	観光プロデュースA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ミライドローンスクールカリキュラム		出版社	みらいドローンスクール	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ドローンの基礎的な知識・技能を身につける		
到達目標	航空法を中心としたドローン運用に関する法的知識の習得と、ミライドローンスクール アドバンスカリキュラム準拠の技能試験項目に合格し、ドローンを安全に飛行させるための基本的な知識・技能を修得する。 後期は身につけた知識・技能を活かし、安全管理を徹底した撮影実習を行い、撮影した素材を元に観光振興を意識した動画作品の制作を行えるようになる。		
評価基準	実技試験60%、筆記試験40%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	みらいドローンスクール 無人航空機アドバンスカリキュラム認定試験		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	松本　桂	実務経験	○
実務内容	アウトドアインストラクター		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 活用事例紹介・動画視聴	自己紹介、1年の授業の大まかな流れと目的の解説、及び小型ドローン飛行体験 ドローンの活用例等を動画等で紹介
2	座学（法規・ほか）①	航空法を主とした法知識の座学
3	座学（法規・ほか）② 小テスト	航空法を主とした法知識の座学 座学で学んだ航空法や関連法規に関する小テスト
4	小テスト回答解説・復習 小型ドローン操縦	小テストの答え合わせと座学の復習 小型ドローンの操縦訓練
5	実習①（ワークショップ）	中型ドローンの機体セットアップや安全確認について 中型ドローン操作アプリの解説（基本機能の解説・各種設定について）
6	実習②（ワークショップ）	中型ドローン操作アプリの解説（特殊条件による詳細設定と緊急時の危険回避などについて） 飛行訓練（基礎１/基礎２）　安全確認と基本操作（離着陸、上昇・下降/ホバリング・遠方への着陸など）
7	実習③（実技小テスト）	実技小テスト（安全確認と離着陸、上昇・下降/ホバリング・遠方への着陸など）

8	実習④	中型ドローンの機体セットアップや安全確認についての復習 飛行訓練（基礎３）決められた位置への離着陸・前後/左右
9	実習⑤	飛行訓練（基礎４）四角形飛行など
10	実習⑥	実技小テスト（決められた位置への離着陸・前後/左右/四角形飛行など）
11	実習⑦	中型ドローンの機体セットアップや安全確認についての復習 決められた位置への離着陸・前後/左右　復習
12	実習⑧	８の字飛行・ノーズインサークル 目視外飛行（カメラ操作と同時の飛行）
13	実習⑨	８の字飛行・ノーズインサークル 目視外飛行（カメラ操作と同時の飛行）
14	座学（法規・ほか）	最初に学んだ知識を確認し、後期への準備を行う
15	振り返り	前期を振り返り、良かった点、後期に向けた改善点など、生徒自身に考えさせ発言させる。

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	観光プロデュースB		
必修選択	選択	（学則表記）	観光プロデュースB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ミライドローンスクールカリキュラム		出版社	みらいドローンスクール	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ドローンの基礎的な知識・技能を身につける
到達目標	航空法を中心としたドローン運用に関する法的知識の習得と、ミライドローンスクール アドバンスカリキュラム準拠の技能試験項目に合格し、ドローンを安全に飛行させるための基本的な知識・技能を修得する。 後期は身につけた知識・技能を活かし、安全管理を徹底した撮影実習を行い、撮影した素材を元に観光振興を意識した動画作品の制作を行えるようになる。
評価基準	実技試験：60%、筆記試験：40%
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者
関連資格	みらいドローンスクール 無人航空機アドバンスカリキュラム認定試験
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する

担当教員	松本　桂	実務経験	○
実務内容	アウトドアインストラクター		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の振り返り・復習 飛行計画の作成	前期で学んだ知識・技能の復習 産学官連携の撮影実習にむけた安全航行のための飛行計画作成
2	撮影準備	撮影実習に使用するドローンやその他機材などの準備
3	撮影実習①	撮影前の最終確認や注意事項などの共有 撮影実践①
4	撮影実習②	撮影実践②
5	撮影実習③	撮影実践③
6	撮影実習④	撮影実践④ 片付けと、実習の振り返り・反省会
7	動画素材確認	実習で撮影した動画素材の確認
8	動画編集ソフトの使い方・基礎①	動画素材の取り込み、クリップの編集、各種エフェクトのなどの解説

9	動画編集ソフトの使い方・基礎②	テキスト・タイトルの挿入、カラー・再生速度調整、保存・書き出し方法の解説
10	動画編集の実践①	構成案作成、音楽の選定、クリップのトリミング
11	動画編集の実践②	クリップの並べ替え、タイトル・テキストの挿入など
12	動画編集の実践③	カラー調整、トランジションの適用など
13	最終確認と書き出し・作品提出	動画の最終的な微調整と保存・書き出し・提出
14	制作物の視聴と意見交換	制作した動画を全員で視聴。良い点・改善点などの意見交換
15	振り返り	１年の振り返り、反省会

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	営業スキル＆観光マーケティング A		
必修選択	選択	（学則表記）	営業スキル＆観光マーケティング A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	プレステップマーケティング		出版社	弘文堂	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	課題解決型の営業スキルと、マーケティング思考への理解を深める		
到達目標	営業・マーケティングがどういうものかを知り、実践できる		
評価基準	ワークの発表：40％ 提出物：30％ 小テスト：30％		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	原田 征和	実務経験	○
実務内容	結婚情報誌ゼクシィの広告営業 3 年 6 か月、JR タワーホテル日航札幌のマーケティング部を 9 年、JR タワーホテル日航札幌の営業を 2 年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション マーケティングとは何か？	授業のねらい、到達目標について 売れる仕掛けのつくりかたを知る
2	STP(1) セグメンテーション〈S〉とターゲティング〈T〉	誰に買ってもらいたいのかを考える
3	STP(2) ポジショニング〈P〉	市場での位置を決め、顧客ニーズをつかむ
4	4 つの P(1) Product〈製品〉	売れる商品とは何かを知る
5	4 つの P(2) Price〈価格〉	価格設定の考え方を理解する
6	4 つの P(3) Place 〈流通チャネル〉	どこで売るのかを考える

7	4 つの P(4) Promotion 〈販売促進〉	ネット広告とテレビ広告の違い
8	具体例で考える STP と 4 つの P	ヘルシア緑茶は何を解決する商品か考える
9	売り手・買い手の力関係、業界内の競争関係	ライバルと業界について
10	消費者行動	何げなく手に取る商品にこめられた狙いとは
11	E コマース	ネット販売が何を変えたか
12	サービス業のマーケティング	モノとサービスの売り方の違い
13	法律と政策の関与	競争とルール
14	ソーシャル・マーケティング	SNS と購買行動の関係性
15	前期のまとめ	テスト

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	営業スキル＆観光マーケティング B		
必修選択	選択	（学則表記）	営業スキル＆観光マーケティング B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	プレステップマーケティング		出版社	弘文堂	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	課題解決型の営業スキルと、マーケティング思考への理解を深める		
到達目標	営業・マーケティングがどういうものかを知り、実践できる		
評価基準	ワークの発表：40％ 提出物：30％ 小テスト：30％		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	原田 征和	実務経験	○
実務内容	結婚情報誌ゼクシィの広告営業 3 年 6 か月、JR タワーホテル日航札幌のマーケティング部を 9 年、JR タワーホテル日航札幌の営業を 2 年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	お客様本位の営業	自分本位の営業と、お客様の立場にたった営業の違い
2	3C と競合優位性	3 つの C を理解して、マドンナをデートに誘う
3	ソーシャルスタイル別のアプローチ	大人しいお客様と、陽気なお客様。どのようにアプローチするか
4	お客様の優先順位を整理する	MUST と WANT の整理を体験する
5	SWOT	アシックスとナイキの違いから、SWOT 分析を理解する
6	営業力の 3 要素	ナレッジ、スキル、マインド

7	質問と共感	拡大質問、特定質問など、実際に使って会話する練習
8	商談の環境を作る	ラポールと動機づけ、を学ぶ
9	セールスポイントの使い分け	同じ業種でも扱う商品によって、接客方法が変わることを知る
10	ロジカルシンキング①	架空のコーヒーチェーンの売上減少の理由を探る
11	ロジカルシンキング②	売上減少の理由を深掘りする
12	ロジカルシンキング③	売上を回復させる具体的な取り組み方法を考える
13	ブランディング	重要なのは事実ではなく知覚された価値
14	アイデアと実行策	ターゲットインサイトとアイデア
15	後期のまとめ	テスト

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	キャリアデザインⅡA		
必修選択	選択	（学則表記）	キャリアデザインⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	キャリアサポート BOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける
到達目標	就職活動の流れを理解する 面接方法が実践できる
評価基準	授業態度３０％・提出物３０％・テスト４０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	なし
関連科目	キャリアデザインⅡB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	林 美香　　実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	就職活動について	就職活動のルールについて理解する
2	社会で求められる人材について	社会で求められる能力を理解する
3	グループディスカッション①	グループディスカッションの進め方を理解する
4	グループディスカッション②	グループディスカッションの役割を理解し、実践練習を行う
5	グループディスカッション③	同上
6	面接練習①	面接の重要性・質問を理解する WEB 面接の重要性・質問を理解する

7	面接練習②	模擬面接を行う
8	面接練習③	同上
9	面接練習④	模擬面接を行う
10	社会で求められる人材について①	SANKO ワークコンピテンスの社会で求められる人材について理解する
11	社会で求められる人材について②	同上
12	社会で求められる人材について③	同上
13	振り返り	就職活動・面接のポイントを振り返る
14	テスト	テスト
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	キャリアデザインⅡB		
必修選択	選択	（学則表記）	キャリアデザインⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	キャリアサポート BOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	就職に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける
到達目標	就職活動の流れを理解する。 社会人に必要なマナーやスキルを理解する。
評価基準	授業態度４０％・提出物３０％・テスト３０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	なし
関連科目	キャリアデザインⅡA
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	林 美香　　実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	社会人とは	社会の一員となることを理解する
2	社員とアルバイトの求められるものの違い	社員とアルバイトの求められるものの違いを理解する
3	社会人基礎力について	社会人として求められる考え方・行動について理解する
4	社会人に求められるスキルについて①	働くにあたり、どのようなスキルが必要なのかを理解する
5	仕事の進め方	仕事の進め方について学ぶ

6	社内マナーについて	社内のマナーについて学ぶ
7	人間関係構築力について①	良い人間関係を築く為に、どのように行動したらいいのかを学ぶ
8	人間関係構築力について②	同上
9	ＴｏＤｏリスト作成について	優先順位の立て方を理解し、どのように仕事を行うのかを学ぶ
10	スケジュール管理について	スケジュールに立て方、管理の仕方を学ぶ
11	年賀状の書き方について	内定を頂いている企業様へ年賀状を書く。年賀状の書き方を学ぶ
12	初期クレーム対応の仕方について①	クレームが発生する時はどのようなケースが多いのかを学ぶ
13	初期クレーム対応の仕方について②	クレーム発生時の初期対応の仕方について学ぶ
14	テスト	テスト
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	手話		
必修選択	選択	（学則表記）	手話		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	手話で学ぼう手話で話そう		出版社	社会福祉法人全国手話研修センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	聴覚障害者の言語である「手話」の基本と聴覚障害者に関する知識を学ぶ		
到達目標	接客場面に於ける聴覚障害者への配慮と対応方法を学び、基本的な手話を習得し、実践できる 外見では分かりにくい聴覚障害についての理解を深めながら、 実際に聴覚障害者と接した時に、適切な対応ができる 積極的なコミュニケーションをとるための方法を理解している		
評価基準	筆記試験：40％ 読み取り試験：30％ 小テスト：20％ レポート：10％		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	若浜 ひろ子	実務経験	○
実務内容	札幌市職員向け手話研修・公益社団法人札幌聴覚障害者協会主催・中級手話教室（基礎課程）・他札幌市教育センター、札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センター、札幌市小中学校、企業研修に於ける「手話」及び「聴覚障害の理解」の講師を担当		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 講義：聴覚障害・手話について	授業の説明・注意事項 「聴覚障害者・コミュニケーションについて」
2	伝えあってみましょう 自己紹介	身振り、表情を工夫することを考え相手に伝える 手話で挨拶・名前を紹介する。指文字を覚える
3	家族紹介 数を使って話す	自己紹介、家族に関わる手話を覚える 数字の表し方、疑問詞の使い方を知る
4	講義：聴覚障害者の生活Ⅰ 趣味について話す	①ＤＶＤ鑑賞 ②「福祉制度について」 趣味に関わる手話表現が正確にできる

5	仕事について話す 接客の時に使う手話 I	仕事に関わる手話を覚える 接客関係の仕事を中心にいろいろな職業の表し方を覚える
6	講義：聴覚障害者の生活 II 住所を紹介する	「聴覚障害者の生活について～講師の体験～」 住所に関わる手話を覚える
7	まとめ・小テスト 接客の時に使う手話 II	復習・自己紹介のまとめ 読み取りテスト 接客関連単語、例文表現
8	講義：聴覚障害の基礎知識 接客対応例文 I	「耳の仕組み・聞こえの仕組みについて」 接客時に使う会話例文
9	時に関する手話 I	１日・週・１カ月に関わる手話を覚える
10	時に関する手話 II	1 年に関わる手話を覚える。会話練習
11	話してみましょう I	今まで学習した疑問詞を使って会話の練習をする
12	話してみましょう II	病院・学校・職場などの生活場面を想像しながら手話で会話ができる 2 人一組で会話練習
13	接客対応例文 II 手話検定に向けての学習	接客時に使う会話を文を練習する 手話検定 5 級・4 級合格に向けて今まで学習した事の復習を行う
14	定期試験	試験を実施する
15	総まとめ 手話検定に向けての学習	試験の振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	プレゼンテーション		
必修選択	選択	（学則表記）	プレゼンテーション		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	60
使用教材	はじめての PowerPoint2019		出版社	秀和システム	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	社会人として必要な PowerPoint の知識とプレゼンテーションスキルを習得する
到達目標	パワーポイントを使用した実践的なプレゼンテーションができることができる
評価基準	プレゼンテーション：40％ 提出物：30％ 小テスト：30％
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	岩渕 穂佳
実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について PowerPoint とは
2	PowerPoint の基本操作①	PowerPoint の基本操作を学ぶ①
3	PowerPoint の基本操作②	PowerPoint の基本操作を学ぶ②
4	プレゼンテーションの作成①	新しいプレゼンテーションを作成する①
5	プレゼンテーションの作成②	新しいプレゼンテーションを作成する②
6	プレゼンテーションの編集①	プレゼンテーションの様々な編集について学ぶ①

7	プレゼンテーションの編集②	プレゼンテーションの様々な編集について学ぶ②
8	作品作成①	観光業界に関するテーマの PowerPoint 作成とプレゼンテーション準備①
9	作品作成②	観光業界に関するテーマの PowerPoint 作成とプレゼンテーション準備②
10	作品作成③	観光業界に関するテーマの PowerPoint 作成とプレゼンテーション準備③
11	上手なプレゼンとは①	上手な発表の方法と評価について学ぶ①
12	上手なプレゼンとは②	上手な発表の方法と評価について学ぶ②
13	発表①	プレゼンテーションの発表会の実施①
14	発表②	プレゼンテーションの発表会の実施②
15	前期の総まとめ	プレゼンテーションの振り返りと前期の総まとめ
16	PowerPoint の応用操作①	PowerPoint の応用操作を学ぶ①
17	PowerPoint の応用操作②	PowerPoint の応用操作を学ぶ②
18	PowerPoint の応用操作③	PowerPoint の応用操作を学ぶ③
19	PowerPoint の応用操作④	PowerPoint の応用操作を学ぶ④
20	PowerPoint の応用操作⑤	PowerPoint の応用操作を学ぶ⑤
21	PowerPoint の応用操作⑥	PowerPoint の応用操作を学ぶ⑥
22	作品作成①	観光業界に関するテーマの PowerPoint 作成とプレゼンテーション準備①
23	作品作成②	観光業界に関するテーマの PowerPoint 作成とプレゼンテーション準備②
24	作品作成③	観光業界に関するテーマの PowerPoint 作成とプレゼンテーション準備③
25	作品作成④	観光業界に関するテーマの PowerPoint 作成とプレゼンテーション準備④

26	作品作成⑤	観光業界に関するテーマの PowerPoint 作成とプレゼンテーション準備⑤
27	コンペティション①	コンペティションの実施①
28	コンペティション②	コンペティションの実施②
29	コンペティション③	コンペティションの実施③
30	総まとめ	プレゼンテーションの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	レストランサービス検定対策Ⅱ		
必修選択	選択	（学則表記）	レストランサービス検定対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	西洋料理料飲接遇サービス技法 レストランサービス技能検定 学科試験合格をめざして		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	国家検定試験受検に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な知識を習得する		
到達目標	国家検定レストランサービス技能士 3 級 学科試験合格を目標としている ホテルサービスの基本知識と技術が身についている		
評価基準	検定合格 40% 各章のまとめ 20%× 2 授業態度 20%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士 3 級		
関連科目	レストランサービス演習ⅡA・ⅡB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	大川 綺萌	実務経験	○
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8 年（レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 模擬試験	授業のルール・成績評価説明 模擬試験を実施する
2	宴会とレストランサービス 5	プロトコール、配席のルール、国旗掲揚について
3	食文化	食の禁忌・食文化とテーブルマナーについて
4	まとめ	演習問題を実施
5	施設管理 苦情対応と遺失物の取り扱い	ホテル設備と防災・苦情対応について

6	食品衛生及び公衆衛生①	食品衛生法の定義と目的、食中毒の分類と特徴について
7	食品衛生及び公衆衛生②	食品衛生法と公衆衛生について
8	安全衛生	労働安全衛生法と労働基準法について
9	まとめ	演習問題を実施
10	検定対策①	検定試験に向けて対策を行う
11	検定対策②	検定試験に向けて対策を行う
12	検定対策③	検定試験に向けて対策を行う
13	検定対策④	検定試験に向けて対策を行う
14	検定対策⑤	検定試験に向けて対策を行う
15	検定対策⑥	検定試験に向けて総まとめの対策を行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	レストランサービス演習ⅡA		
必修選択	選択	（学則表記）	レストランサービス演習ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	国家検定実技試験受検に向けて、レストランにおける料飲サービスに関する基本的な動作を習得する
到達目標	国家検定レストランサービス技能士 3 級 実技試験合格を目標として、 ホテルサービスの基本知識と技術をもった人材になる
評価基準	検定学科合否 20%・まとめ実践 20%×2・評価シート 20%・授業態度 20%
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者”
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士 3 級
関連科目	レストランサービス検定対策 1・Ⅱ レストランサービス演習Ⅰ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	山本 悠介	実務経験	○
実務内容	ホテル料飲・宴会部門勤務、バーテンダー

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション サーバーの使い方	授業の流れ、到達目標について サーバーの使い方を知る
2	朝食のサービス	朝食におけるサービスを行う
3	ランチタイムの サービス 1	ランチタイムのテーブルサービスを行う
4	ディナータイムの サービス 1	ディナータイムのサービスをおこなう

5	まとめ	学んだことを実践する
6	検定実技 シミュレーション 1	過去の課題をテーマにチャレンジ
7	検定実技 シミュレーション 2	過去の課題をテーマにチャレンジ
8	検定実技 シミュレーション 3	過去の課題をテーマにタイムトライアル 1
9	検定実技 シミュレーション 4	過去の課題をテーマにチャレンジ
10	検定実技 シミュレーション 5	過去の課題をテーマにチャレンジ
11	検定実技 シミュレーション 6	過去の課題をテーマにタイムトライアル 2
12	検定実技 シミュレーション 7	過去の課題をテーマにチャレンジ
13	検定実技トライアル 総合実践確認	総合的な実践を踏まえた確認と復習
14	検定学科対策	学科試験対策に取り組む
15	まとめ	学科試験の振り返りと前期まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	レストランサービス演習ⅡB		
必修選択	選択	（学則表記）	レストランサービス演習ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	国家検定実技試験受検に向けて、レストランにおける料飲サービスに関する基本的な動作を習得する		
到達目標	国家検定レストランサービス技能士 3 級 実技試験合格を目標としている ホテルサービスの基本知識と技術が身についていいる		
評価基準	検定実技合否 20%・まとめ実践 20%×3・授業態度 20%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士 3 級		
関連科目	レストランサービス検定対策Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	山本 悠介	実務経験	○
実務内容	ホテル料飲・宴会部門勤務、バーテンダー		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	レストランサービス 実技試験対策①	本年度課題に取り組む
2	レストランサービス 実技試験対策②	本年度課題に取り組む
3	レストランサービス 実技試験対策③	本年度課題に取り組む
4	レストランサービス 実技試験対策④	本年度課題に取り組む
5	レストランサービス 実技試験対策⑤	本年度課題に取り組む

6	テーブルマナー	大人の食卓マナーを学ぶ
7	ワイン抜栓と ティスティングの知識	ワインの取り扱いとワインサービスマナーを学ぶ
8	オリジナルカクテル 創作法①	①カクテルを創作する手順を学ぶ
9	オリジナルカクテル 創作法②	ノンアルコールカクテルをイメージし試作する
10	オリジナルカクテル 創作法③	オリジナルノンアルコールカクテルを完成させる
11	カクテルコンテスト (まとめ実践)	実践する
12	オレンジのカービング	オレンジのカービングを行う
13	フレーミング デザート①	フレーミングデザートを作る
14	フレーミング デザート②	フレーミングデザートを作る
15	まとめ	学んだことを実践する

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ホテルマネジメント A		
必修選択	選択	（学則表記）	ホテルマネジメント A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ホテル・マネジメント概論		出版社	一般社団法人日本宿泊産業マネジメント協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ホテルマネジメント技能検定に合格し、マネジメントの観点からホテルを理解する また、実技授業を通して実践的な知識・技術を習得し企業が求める即戦力となる人材を目指す
到達目標	マネジメントを意識して働くことの重要性に気付くことができる マネジメントの観点からホテルを理解することができる サービス面ばかりでなくマネジメントの面からも毎日の業務を考えることが出来る 実習授業を通し、サービス技術を体得し、即戦力となる人材となる
評価基準	筆記テスト 30%・実技テスト 30%・小テスト 20%・授業態度、提出物 20%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	大内 智博
実務経験	○
実務内容	ホテル宿泊部門勤務、ホテル総支配人

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方と検定概要 1 年時の復習
2	業務運営管理２－３	宴会サービスの業務と要求される能力の理解
3	業務運営管理２－４	営業 ・マーケティング職種の業務と要求される能力の理解
4	業務運営管理２－５	施設管理職種の業務と要求される能力の理解

5	業務運営管理２－６	危機管理職種の業務と要求される能力の理解
6	業務運営管理２－７	経営管理職種の業務と要求される能力の理解
7	ホテル法務知識	ホテル法務知識の概要演習
8	購買管理　・人材マネジメント	購買管理の概要理解　・人材マネジメントの概要理解
9	定期テスト	定期テストの実施
10	検定直前対策①	過去問等を使用し、直前対策を実施①
11	検定直前対策②	過去問等を使用し、直前対策を実施②
12	検定直前対策③	過去問等を使用し、直前対策を実施③
13	検定直前対策④	過去問等を使用し、直前対策を実施④
14	検定直前対策⑤	過去問等を使用し、直前対策を実施⑤
15	検定直前対策⑥	過去問等を使用し、直前対策を実施⑥

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ホテルマネジメント B		
必修選択	選択	（学則表記）	ホテルマネジメント B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ホテル・マネジメント概論		出版社	一般社団法人日本宿泊産業マネジメント協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ホテルマネジメント技能検定 3 級に合格し、マネジメントの観点からホテルを理解する また、実技授業を通して実践的な知識・技術を習得し企業が求める即戦力となる人材を目指す
到達目標	マネジメントを意識して働くことの重要性に気付くことができる マネジメントの観点からホテルを理解している サービス面ばかりでなくマネジメントの面からも毎日の業務を考えることが出来る 実習授業を通し、サービス技術を体得し、即戦力となる人材になることができる
評価基準	筆記テスト 30%・実技テスト 30%・小テスト 20%・授業態度、提出物 20%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	大内 智博
実務経験	○
実務内容	ホテル宿泊部門勤務、ホテル総支配人

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方と実技試験の概要と特徴について
2	マネジャー業務	マネジャーに求められる能力の理解
3	ホテルの会計の概要①	ホテルの会計の概要の理解（1）
4	ホテルの会計の概要②	ホテルの会計の概要の理解（2）

5	ホテル・マーケティング	ホテル ・マーケティング概要演習
6	検定直前対策①	過去問等を使用し、直前対策を実施①
7	検定直前対策②	過去問等を使用し、直前対策を実施②
8	検定直前対策③	過去問等を使用し、直前対策を実施③
9	検定直前対策④	過去問等を使用し、直前対策を実施④
10	ベル業務実習	応用的なベル業務について学ぶ
11	フロント業務実習①	応用的なフロント業務について学ぶ①
12	フロント業務実習②	応用的なフロント業務について学ぶ②
13	客室業務実習	応用的な客室業務について学ぶ
14	定期テスト	テストの実施
15	総括	訪日外国人の動向・ホテル業界の今後について学ぶ。

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ホテル英会話 A		
必修選択	選択	（学則表記）	ホテル英会話 A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ホテル英会話Ⅰ　基礎編		出版社	一般財団法人日本ホテル教育センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	英会話を通してお客様に満足のいく接客ができるようになる		
到達目標	ホテルを利用するお客様と最低限のコミュニケーションが取れる程度の英語を話せるようになる		
評価基準	ロールプレイングテスト 40%・小テスト 30%・授業態度 30%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	インバウンド接客英会話/TOEIC テスト		
関連科目	観光英会話 II A		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	岩渕 穂佳	実務経験	○
実務内容	ホテル レストラン勤務 6 年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	授業の目的、成績評価、ルール (ウェディング英語・英語 SONG)	授業ルール（日本語ＮＧ・質問英語プリント毎週近況を言う） ウェディング英語を挙げる / 英語ＳＯＮＧを歌ってみよう
2	英語の挨拶・自己紹介・質問 How are you today?	挨拶の仕方・自己紹介（名前・出身・国籍・仕事 学校・家族・趣味）
3	Lesson1	①グリーティングフレーズ ②I ‘d like to～
4	Lesson1	グリーティング ロールプレイング
5	Lesson2	オーダーテイクの基本 客と定員のロールプレイング
6	Lesson2 Dialogue1・2 オーダーテイク①②	オーダーテイクの基本 客と定員のロールプレイング メニュー表を使っての客と定員のロールプレイング

7	Lesson2 Dialogue3・ 4 ・5	質問フレーズを使ったロールプレイング
8	Lesson2 Exercise	ロールプレイング・筆記
9	Lesson1・2 小テスト	会話＆筆記
10	Lesson3 Dialogue1・2・3	①よく使うフレーズ ③感謝・謝罪・残念のロールプレイング
11	Lesson3 Exercise	ロールプレイング・筆記
12	Lesson4 数字にまつわる基本	（lesson3 小テスト） 数字・時間・フロアー・電話番号・お金（数の数え方・通貨・桁の大きい金額）
13	Lesson4 Exercise	ロールプレイング・筆記
14	How have you been? Lesson 5	(1)～(5) 道案内
15	Lesson 5	(6) 道案内・場所の説明

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ホテル英会話 B		
必修選択	選択	（学則表記）	ホテル英会話 B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ホテル英会話Ⅰ　基礎編		出版社	一般財団法人日本ホテル教育センター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	英会話を通してお客様に満足のいく接客ができるようになる
到達目標	ホテルを利用するお客様と最低限のコミュニケーションが取れる程度の英語を話せるようになる
評価基準	ロールプレイングテスト 40%・小テス 30%・授業態度 30%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	観光英会話ⅡB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	岩渕 穂佳　　実務経験　○
実務内容	ホテル レストラン勤務 6 年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	Lesson 5 Dialogue1～4	ドアマン ロールプレイング・筆記①
2	Lesson 5 Exercise	ドアマン ロールプレイング・筆記②
3	Lesson 6	ベル ロールプレイング①
4	Lesson 6 Dialogue＆Exercise	ベル ロールプレイング②・筆記
5	Lesson 7 Dialogue＆Exercise	クロークアテンド ロールプレイング・筆記①
6	Lesson 7 Dialogue＆Exercise	クロークアテンド ロールプレイング・筆記②

7	Lesson 8 Dialogue1・2・3	フロント ロールプレイング・筆記①
8	Lesson 8 Dialogue4・5・6＆Exercise	フロント ロールプレイング・筆記②
9	Lesson5～8 小テスト	会話＆筆記
10	How have you been? Lesson 9 Dialogue1・ 2	ハウスキーパー ロールプレイング・筆記①
11	Lesson 9 Dialogue3・4 Exercise	ハウスキーパー ロールプレイング・筆記②
12	Lesson 10	レストランスタッフ ロールプレイング・筆記①
13	Lesson 10 Dialogue＆Exercise	レストランスタッフ ロールプレイング・筆記②
14	Lesson5～8 小テスト	Lesson5～8 小テスト
15	まとめ	１年間の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	出入国関連法令と実務Ⅱ		
必修選択	選択	（学則表記）	出入国関連法令と実務Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	海外旅行実務 出入国法令と実務 科目別速習問題集（総合）		出版社	ＪＴＢ総合研究所	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	国家試験である総合旅行業務取扱管理者に合格することを目的とする		
到達目標	総合旅行業務取扱管理者に合格することができる 総合旅行業務取扱管理者の知識が身についている		
評価基準	期末テスト：50%　小テスト・提出物：50%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	濱中　淳子	実務経験	○
実務内容	旅行会社にて海外添乗業務に従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 時差	授業のねらい、到達目標について 時差の計算
2	OAG 時刻表の見方①	海外実務をする者の基礎知識①
3	OAG 時刻表の見方②	海外実務をする者の基礎知識②
4	所要時間の計算	時差の計算を基本に所要時間を出す学習
5	復習テスト①	テストと解答

6	欧州鉄道の時刻表の見方	欧州時刻表の見方になれる
7	バス・船舶・ホテル・食事	海外実務をする者の基礎知識
8	復習テスト②	テストと解答
9	旅券手続き①	旅券の手続きの基本について復習
10	旅券手続き②	様々な旅券手続きの確認
11	入国査証	入国 VISA の基本について確認
12	検疫・税関手続き	帰国の際に必要な知識
13	携帯品の申告	日本に帰国の際の税関の免税範囲
14	ワシントン条約	入国の持ち込み規制について
15	テスト	テストと解答

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	海外観光資源Ⅱ		
必修選択	選択	（学則表記）	海外観光資源Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	海外旅行実務・海外観光資源 ‘２３～’２４年版 ユーキャンの旅行業務取扱管理者＜観光資源（国内・海外）＞ ポケット問題集＆要点まとめ 旅に出たくなる地図		出版社	JTB 総合研究所 ユーキャン	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	国家試験（総合）に向けての準備と海外観光資源の基礎知識を身につける
到達目標	・総合旅行業務取扱管理者資格試験の海外地理の分野の部分で各自の目標点数に到達する ・旅行業界で必要な海外観光地の基礎知識を身につける
評価基準	テスト４０%、小テスト２０%、提出物/宿題２０%、授業態度２０%
認定条件	・出席が総合時間の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	総合旅行業務取扱管理者資格
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	濱中 淳子 / 実務経験 / ○
実務内容	旅行会社にて海外添乗業務に従事

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	国家試験対策について ヨーロッパの国々/イギリス/フランス	・国家試験の海外地理の試験についての対策及び勉強方法 ・ヨーロッパの国々・イギリスとフランスの観光地
2	ドイツ/イタリア/スペイン	・ドイツ、イタリア、スペインの観光地
3	国家試験の過去問題練習	・スイス、オーストリア、北欧などの観光地 ・美術館と博物館について（展示作品なども含めて）
4	国家試験の過去問題練習	ヨーロッパ分野の過去問題を使って試験対策

5	アジアの国々 中国/台湾/韓国	ヨーロッパ分野の過去問題を使って試験対策
6	東南アジア/インドなど	・アジアの国々 ・中国、台湾、韓国の観光地
7	国家試験の過去問題練習	・東南アジア、インドなどの観光地
8	国家試験の過去問題練習	・アジア分野の過去問題を使って試験対策
9	北米/ハワイ	・アジア分野の過去問題を使って試験対策
10	中南米 国家試験の過去問題練習	・北米、ハワイの観光地
11	国家試験の過去問題練習	・北米、ハワイ、中南米分野の国家試験を使って試験対策
12	オセアニア	・北米、ハワイ、中南米分野の国家試験を使って試験対策
13	テスト	・テスト実施
14	国家試験の過去問題練習	・オセアニアなどの分野の国家試験を使って試験対策
15	アフリカ/トルコなど 国家試験の過去問題練習	・アフリカ、トルコ、中近東の国々の観光地 ・アフリカ、トルコ、中近東分野の国家試験を使って試験対策

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	国際航空運賃 II		
必修選択	選択	（学則表記）	国際航空運賃 II		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	海外旅行実務・国際航空運賃・料金/約款 科目別速習問題集（総合）		出版社	JTB 総合研究所	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	国家試験である総合旅行業務取扱管理者に合格することを目的とする		
到達目標	上記試験に合格できる能力が身についている		
評価基準	期末テスト：50％ 小テスト 30% 提出物 20％		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	総合旅行業務取扱管理者		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	熊谷 小百合	実務経験	○
実務内容	旅行会社カウンター勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション キャリア運賃①	授業のねらい、到達目標について 理解度チェックテスト/解説
2	キャリア運賃②	理解度チェックテスト/解説/まとめ
3	旅行業約款①	国際旅客運送約款①
4	旅行業約款②	国際旅客運送約款②
5	旅行業約款③	国際旅客運送約款③

6	旅行業約款④	国際旅客運送約款④
7	小テスト	チェックテスト/解説/まとめ
8	キャリア運賃/約款①	本試験レベル問題①
9	キャリア運賃/約款②	本試験レベル問題②
10	キャリア運賃/約款③	本試験レベル問題③
11	キャリア運賃/約款④	本試験レベル問題④
12	キャリア運賃/約款⑤	本試験レベル問題⑤
13	キャリア運賃/約款⑥	本試験レベル問題⑥
14	キャリア運賃/約款⑦	本試験レベル問題⑦
15	期末テスト	テスト実施 テストの解説

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	旅行英語 A		
必修選択	選択	（学則表記）	旅行英語 A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	なし		出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	総合旅行業務取扱管理者資格の語学分野の問題を解答する読解力をつける
到達目標	総合旅行業務取扱管理者資格の語学分野の問題の各自の目標点を取ることができる
評価基準	テスト 40%、小テスト 20%、提出物/宿題 20%、授業態度 20%
認定条件	出席が総時間の 3 分の 2 以上あるもの 成績評価が 2 以上の者
関連資格	総合旅行業務取扱管理者資格
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	グリーン 仁美 / 実務経験 ○
実務内容	通訳案内士、海外添乗員

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 国家試験について/関連語彙	授業のねらい、到達目標について 国家試験の語学の部分について/必要となる関連語彙の確認
2	観光についての問題対策①	過去問題より観光についての問題を使用して語彙、読解、問題解答
3	観光についての問題対策②	過去問題より観光についての問題を使用して語彙、読解、問題解答
4	観光についての問題対策③	過去問題より観光についての問題を使用して語彙、読解、問題解答
5	ホテルについての問題対策①	過去問題よりホテルについての問題を使用して語彙、読解、問題解答
6	ホテルについての問題対策②	過去問題よりホテルについての問題を使用して語彙、読解、問題解答

7	鉄道についての問題対策①	過去問題より鉄道についての問題を使用して語彙、読解、問題解答
8	鉄道についての問題対策②	過去問題より鉄道についての問題を使用して語彙、読解、問題解答
9	クルーズについての問題対策①	クルーズについての基本事項を解説 過去問題よりクルーズについての問題を使用して語彙、読解、問題解答
10	クルーズについての問題対策②	過去問題よりクルーズについての問題を使用して語彙、読解、問題解答
11	契約などについての問題①	過去問題より旅行会社と各施設や顧客との契約事項などについての問題を使用して語彙、読解、問題解答
12	契約などについての問題②	過去問題より旅行会社と各施設や顧客との契約事項などについての問題を使用して語彙、読解、問題解答
13	その他の分野の問題	これまでの取り扱わなかった分野について（航空など）の問題を使用し、語彙、読解、問題解決
14	テスト	テストの実施
15	振り返り 試験対策練習	テストの振り返り 過去問題を使って解答の練習

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	旅行英語 B		
必修選択	選択	（学則表記）	旅行英語 B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	ホスピタリティコミュニケーションと講師作成のプリント		出版社	三修社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	接客英語を使いこなせるようになるための実践英語を身につける		
到達目標	英語を使っての接客の基礎が身についている		
評価基準	テスト 40%、小テスト 20%、提出物/宿題 20%、授業態度 20%		
認定条件	出席が総時間の 3 分の 2 以上あるもの 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	グリーン 仁美	実務経験	○
実務内容	通訳案内士、海外添乗員		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	英語の基礎	英語の基本的な文法や品詞などを振り返り確認、学習する
2	会話の基礎	これまで習ってきたような会話の基礎を使ってみる
3	U1 接客コミュニケーション①	接客のコミュニケーションの基本とする語彙や文
4	U1 接客コミュニケーション②	接客のコミュニケーションの基本とする語彙や文を使っての会話
5	U2～U3 航空関係の英語	航空会社で使われる英語の基本としての会話
6	U 4 面接	面接に対する英会話について学ぶ

7	U5 チケット販売	チケット販売の例をみながらカウンターでの接客英語について学ぶ
8	U9 ホテル業務内容	ホテル業務内容についての英語を学ぶ
9	U10 料理部門(F&B)	料理部門についての語彙、および会話などを学ぶ
10	観光業の英語①	観光業の語彙・旅行英語について学ぶ（アウトバウンド）
11	観光業の英語②	観光業の語彙・旅行英語と接客英語について学ぶ（アウトバウンドとインバウンド）
12	観光業の英語③	観光業の語彙・接客英語について学ぶ（インバウンド）
13	テスト	会話の面接テストと語彙などのペーパーテスト
14	トラブル処理（U7＆U11）	トラブルについての語彙や英文について学ぶ
15	インバウンド英語	インバウンド向けの北海道観光や食事などに関する英語を学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ツアーコンダクター実務		
必修選択	選択	（学則表記）	ツアーコンダクター実務		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	旅程管理研修		出版社	JTB 総合研究所	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	・旅程管理者としての基本を学びながら、国内・海外添乗の実務を学ぶ。
到達目標	・ツアーコンダクター・ガイドとして活躍できるレベルへの到達
評価基準	・テスト：50％ 提出物・実地訓練：30％ 小テスト：20％
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者
関連資格	国内旅行業務取扱管理者・総合旅行業務取扱管理者・国内・総合旅程管理主任者
関連科目	国内旅行業務取扱管理者Ⅰ 旅行業約款 国内旅行実務（国内運賃料金 国内観光資源・地理）
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	濱中 淳子
実務経験	○
実務内容	旅行会社にて海外添乗業務に従事

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション ツアーコンダクターの基本	授業のねらい・到達目標・成績評価について 旅行の種類と旅程管理の関係について理解する
2	ツアーコンダクターの役割、 留意点	企画旅行が負う業務とツアーコンダクターの役割
3	ツアーの流れとツアーコンダクター の業務	日帰りツアーを例として、ツアーコンダクター業務の流れを理解する
4	ツアーの流れとツアーコンダクター の業務	宿泊ツアーを例として、ツアーコンダクター業務の流れを理解する
5	実務の練習・訓練	添乗業務に必要なトーク練習。自分らしさを踏まえた挨拶の練習

6	国内ツアーコンダクター基礎知識	宿泊・鉄道・航空の実務を理解する。
7	国内ツアーコンダクター基礎知識	貸切バス・観光・食事関係の実務を理解する。
8	実地研修	観光地におけるツアーコンダクター実務の実地研修（外）
9	テスト	国内ツアーコンダクター実務のテスト実施
10	海外ツアーコンダクター基礎知識	国内旅行と海外旅行の違いとツアーコンダクター業務の違いを理解する
11	海外ツアーコンダクター基礎知識	海外の基礎知識、（手配、宿泊、航空、鉄道、貸し切りバス）
12	海外ツアーコンダクター基礎知識	海外の基礎知識、（トランスファーとミーティングスタッフ、観光、食事）
13	海外ツアーコンダクター基礎知識	海外の基礎知識、（出入国手続き、外国語等）
14	海外ツアーの流れとツアーコンダクターの業務	海外ツアーを例として、ツアーコンダクター業務の流れを理解する
15	事故とトラブルへの対応 テスト	未然防止や処理・報告・保険関係について テスト まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ツアーデスク・カウンター実務		
必修選択	選択	（学則表記）	ツアーデスク・カウンター実務		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	旅行会社のカウンター販売		出版社	ＪＴＢ総合研究所	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	旅行業への理解を深める
到達目標	旅行会社勤務に必要な知識やテクニックが身についている
評価基準	提出物/課題：70%　授業態度：30%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	熊谷 小百合　　実務経験　○
実務内容	旅行会社カウンター勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	宿泊施設知識	北海道内各地宿泊施設の特徴をつかむ
3	国内旅行カウンター販売知識①	募集型企画旅行商品の販売
4	国内旅行カウンター販売知識②	募集型企画旅行商品の販売
5	パンフレットについて①	国内パンフレットの見方を学ぶ
6	パンフレットについて②	海外パンフレットの見方を学ぶ

7	国内旅行カウンター販売知識	最終のご案内・お得意様づくりについて
8	販売のロールプレイング	カウンタートークを実践
9	販売促進 POP について	POP の基本について学ぶ
10	POP 作成	旅行テーマを決め、POP を作成してみよう
11	POP 作成	旅行テーマを決め、POP を作成してみよう
12	海外主要都市情報①	日本人観光客に人気の観光地を調べる
13	海外主要都市情報②	日本人観光客に人気の観光地の魅力をまとめる
14	海外主要都市情報③	日本人観光客に人気の観光地の魅力をまとめる/発表
15	まとめ	チェックテスト/まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	自然ガイドⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	自然ガイドⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	北海道アウトドアテキスト【基礎編】/【応用編】 北海道アウトドアテキスト【自然環境の主な法令・制度編】 北海道アウトドアテキスト【リスクマネジメント編】		出版社	北海道経済部観光局	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	自然ガイドとして基礎知識を習得する		
到達目標	北海道アウトドアガイド専門分野（自然ガイド）に合格することができる		
評価基準	小テスト：60％ 検定合格：40％		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	北海道アウトドアガイド専門分野（自然ガイド）		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	弘中 祐	実務経験	○
実務内容	アウトドアインストラクター		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 検定対策①	授業のねらい、到達目標について再確認 実技対策①
2	検定対策②	実技対策②
3	検定対策③	募集型企画旅行商品の販売
4	自然見学①	北海道自然環境見学①
5	自然見学②	北海道自然環境見学②

6	自然見学③	北海道自然環境見学③
7	自然見学④	北海道自然環境見学④
8	プレゼンテーション①	見学後の振り返り プレゼンテーション作成①
9	プレゼンテーション②	プレゼンテーション作成②
10	発表	発表
11	トレッキング①	札幌近郊の山をトレッキング又は登山① 山の中を散策して自然を楽しむ（動植物の観察）
12	トレッキング②	札幌近郊の山をトレッキング又は登山② 山の中を散策して自然を楽しむ（動植物の観察）
13	トレッキング③	札幌近郊の山をトレッキング又は登山③ 山の中を散策して自然を楽しむ（動植物の観察）
14	トレッキング④	札幌近郊の山をトレッキング又は登山④ 山の中を散策して自然を楽しむ（動植物の観察）
15	振り返りと総まとめ	振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	フードマイスターA		
必修選択	選択	（学則表記）	フードマイスターA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	北海道産食材ハンドブック		出版社	札幌商工会議所	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	北海道産の食材の理解を深める
到達目標	北海道フードマイスター検定に合格することができる 北海道産の食料生産事情を理解している 北海道産の食材を理解している
評価基準	小テスト：40%　検定合格：30%　授業態度：30%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価 2 以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	弘中　祐　　実務経験　○
実務内容	アウトドアインストラクター

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業のねらい、到達目標について 北海道フードマイスター検定について
2	北海道の食料生産事情 ①	歴史と自然、人口と産業の構造 農業(畜産を含む)の現状
3	北海道の食料生産事情 ②	水産業の現状 食の安全・安心と北海道ブランドの確立
4	北海道の食材 ①	米・畑作物 ①
5	北海道の食材 ②	米・畑作物 ②

6	北海道の食材 ③	野菜類 ①
7	北海道の食材 ④	野菜類 ②
8	北海道の食材 ⑤	野菜類 ③
9	北海道の食材 ⑥	野菜類 ④
10	北海道の食材 ⑦	果実類 ①
11	北海道の食材 ⑧	果実類 ②
12	北海道の食材 ⑨	きのこ・山菜類 ①
13	北海道の食材 ⑩	きのこ・山菜類 ②
14	小テスト	小テスト実施
15	前期の総まとめ	テストの返却と前期授業の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	フードマイスターB		
必修選択	選択	（学則表記）	フードマイスターB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	北海道産食材ハンドブック		出版社	札幌商工会議所	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	北海道産の食材の理解を深める
到達目標	北海道フードマイスター検定に合格することができる 北海道産の食料生産事情を理解している 北海道産の食材を理解している
評価基準	小テスト：40%　検定合格：30%　授業態度：30%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価 2 以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	弘中　祐　　実務経験　○
実務内容	アウトドアインストラクター

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業のねらい、到達目標について 北海道フードマイスター検定について
2	北海道の食材 ①	藻類・魚介類 ①
3	北海道の食材 ②	藻類・魚介類 ②
4	北海道の食材 ③	藻類・魚介類 ③
5	北海道の食材 ④	肉・卵・乳・乳製品 ①

6	北海道の食材 ⑤	肉・卵・乳・乳製品 ②
7	食品の成分と栄養 ①	栄養素、嗜好成分、その他の成分
8	食品の成分と栄養 ②	食品成分の機能、主要無機質の主な機能
9	食品の成分と栄養 ③	ビタミンの主な機能、その他の成分の機能 食品の機能性に関わる制度
10	小テスト	小テスト実施
11	検定対策 ①	北海道フードマイスター検定対策 ① 過去問題実施、解答
12	検定対策 ②	北海道フードマイスター検定対策 ② 過去問題実施、解答
13	検定対策 ③	北海道フードマイスター検定対策 ③ 過去問題実施、解答
14	検定対策 ④	北海道フードマイスター検定対策 ④ 過去問題実施、解答
15	検定ふりかえり	検定振り返りと授業の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ガイド英会話 A		
必修選択	選択	（学則表記）	ガイド英会話 A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	観光ビジネス英語入門コース		出版社	株式会社 マクミラン ランゲージハウス	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	訪日客に対して、アウトドアが楽しめるような英語力を養う		
到達目標	アウトドアに特化した英語力が身についている 北海道の有名な観光地を英語で説明することができる		
評価基準	小テスト：40% 発表：30% 授業態度：30%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	グリーン 仁美	実務経験	○
実務内容	通訳案内士、海外添乗員		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業のねらい、到達目標について ガイド英会話の必要性を理解する
2	イントロダクション	イントロダクション ガイドの職業理解を深め、英語の必要性を学ぶ
3	Lesson 1 ①	May I help you？
4	Lesson 1 ②	May I help you？
5	Lesson 2 ①	When would you like to leave？

6	Lesson 2 ②	When would you like to leave？
7	Lesson 3 ①	One of my group members is sick
8	Lesson 3 ②	One of my group members is sick
9	Lesson 4 ①	Welcome to Japan
10	Lesson 4 ②	Welcome to Japan
11	北海道の観光地を英語で紹介① 準備	北海道の観光地を自分で調べ、英語で魅力を伝える準備をする
12	北海道の観光地を英語で紹介② 準備	北海道の観光地を自分で調べ、英語で魅力を伝える準備をする
13	北海道の観光地を英語で紹介③ 発表	北海道の観光地を自分で調べ、英語で魅力をクラスメイトに発表する
14	小テスト	小テスト実施
15	前期の総まとめ	テストの返却と前期授業の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ガイド英会話 B		
必修選択	選択	（学則表記）	ガイド英会話 B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	観光ビジネス英語入門コース		出版社	株式会社 マクミラン ランゲージハウス	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	訪日客に対して、アウトドアが楽しめるような英語力を養う		
到達目標	アウトドアに特化した英語力が身についている 北海道の有名な観光地を英語で説明することができる		
評価基準	小テスト：40% 発表：30% 授業態度：30%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	グリーン 仁美	実務経験	○
実務内容	通訳案内士、海外添乗員		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業のねらい、到達目標について再度理解させる
2	Lesson 5	Would you spell out your name？
3	Lesson 6	Yes.we can change your flight
4	Lesson 7	Are you checking in any luggage？
5	Lesson 8	Have a nice flight！

6	Lesson 9	We'll be taking off shortly.
7	Lesson 10	Do you have anything to declare ?
8	Lesson 11	We have a single room available.
9	Lesson 12	This is your key card.
10	Lesson 13	I recommend the tour to Nikko.
11	Lesson 14	We apologize for the inconvenience.
12	Lesson 15	Thank you for staying with us !
13	発表	英語でアウトドア発表
14	小テスト	小テスト実施
15	後期の総まとめ	テストの返却と後期授業の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	リスクマネジメントⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	リスクマネジメントⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	北海道アウトドアテキスト【リスクマネジメント編】 北海道アウトドアテキスト【自然環境保全の主な法令・制度編】		出版社	北海道経済部観光局	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	安心、安全なアウトドア活動を実施するための知識を習得する
到達目標	北海道アウトドア検定に合格することができる 北海道アウトドア専門ガイド【自然】の知識が身についている
評価基準	小テスト 60％ 検定 40％
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	北海道アウトドア専門ガイド【自然】検定(2 年 9 月筆記予定）（10 月実技予定）
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	弘中 祐 ／ 実務経験 ○
実務内容	アウトドアインストラクター

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 法令・制度	環境基本法/北海道環境基本条例/自然公園法
2	第 2 章 自然環境保全に関する法令①	自然環境保全法/北海道自然環境等保全条例/文化財保護法
3	第 2 章 自然環境保全に関する法令②	北海道自然環境見学におけるリスクを考える 自然ガイドⅡ（自然環境見学）
4	第 2 章 自然環境保全に関する法令③	北海道文化財保護条例/鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律 絶滅の恐れのある野生動物植物の種の保存に関する法律
5	第 2 章 自然環境保全に関する法令④	北海道希少野生動物の保護に関する条例 森林法/河川法/水産資源保護法/北海道水面漁業調整規則

6	小テスト	小テストの実施
7	検定対策①	検定対策(筆記／実技) （筆記 2 年 9 月 実技 2 年 10 月予定）
8	検定対策②	検定対策(筆記／実技) （筆記 2 年 9 月 実技 2 年 10 月予定）
9	検定対策③	検定対策(筆記／実技) （筆記 2 年 9 月 実技 2 年 10 月予定）
10	検定対策④	検定対策(筆記／実技) （筆記 2 年 9 月 実技 2 年 10 月予定）
11	検定対策⑤	検定対策(筆記／実技) （筆記 2 年 9 月 実技 2 年 10 月予定）
12	検定対策⑥	検定対策(筆記／実技) （筆記 2 年 9 月 実技 2 年 10 月予定）
13	検定対策⑦	検定対策(筆記／実技) （筆記 2 年 9 月 実技 2 年 10 月予定）
14	検定対策⑧	検定対策(筆記／実技) （筆記 2 年 9 月 実技 2 年 10 月予定）
15	検定対策⑨	検定対策(筆記／実技) （筆記 2 年 9 月 実技 2 年 10 月予定）

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	北海道アクティビティ		
必修選択	選択	（学則表記）	北海道アクティビティ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	北海道アウトドアテキスト【基礎編】/【応用編】☒ 北海道アウトドアテキスト【自然環境の主な法令・制度編】 北海道アウトドアテキスト【リスクマネジメント編】		出版社	北海道経済部観光局	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	北海道のアウトドアに関する基本的な知識を得る		
到達目標	北海道アウトドア検定に合格することができる 北海道のアウトドアに関する基本的な知識が身についている		
評価基準	小テスト60%　検定40%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	弘中　祐	実務経験	○
実務内容	アウトドアインストラクター		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業のねらい、到達目標について
2	外部実習に向けて	外部実習を行うにあたっての注意事項
3	外部実習①	北海道内でアクティビティ実施
4	外部実習②	北海道内でアクティビティ実施
5	外部実習③	北海道内でアクティビティ実施
6	外部実習④	北海道内でアクティビティ実施
7	外部実習⑤	北海道内でアクティビティ実施

8	外部実習⑥	北海道内でアクティビティ実施
9	外部実習⑦	北海道内でアクティビティ実施
10	外部実習⑧	北海道内でアクティビティ実施
11	外部実習⑨	北海道内でアクティビティ実施
12	外部実習⑩	北海道内でアクティビティ実施
13	外部実習振り返り	外部実習実施後における振り返り実施
14	小テスト	小テスト実施
15	テスト返却と総まとめ	テスト返却と総まとめ実施

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	サービス介助士		
必修選択	選択	（学則表記）	サービス介助士		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	サービス介助士資格取得講座テキスト		出版社	日本ケアフィット共育機構	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	グランドスタッフとして必要なおもてなしの心と介護技術を学ぶ 日系航空会社で資格取得に取り組んでいる「サービス介助士」の資格取得を目指す
到達目標	ご高齢の客様や介助の必要お客様に対して自信をもって接客できる 個々のお客様に合った接客サービスを考え提供することが出来る サービス介助士資格を取得することができる
評価基準	定期試験 40％ 授業態度 30％ 小テスト 30％
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	サービス介助士
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	林 美香
実務経験	○
実務内容	航空会社勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 障がい者差別解消法	サービス介助論について、サービス介助士の必要性 超高齢化社会の現状/障がい者差別解消法について
2	ホスピタリティ・マインド	ホスピタリティの語源とホスピタリティについて ホスピタリティ体験についてディスカッション
3	ノーマライゼーション	ノーマライゼーションについて 障がいの種類について/事前課題の取り組み
4	高齢者の理解と介助	高齢者の身体的特徴やかかりやすい病気・特徴的な病気 事前課題の取り組み
5	ジェントロジー	ジェントロジーとは 将来について考察/事前課題への取り組み

6	接遇	サービス介助士としての接遇 事前課題の取り組み
7	障がい者への理解と介助 (車いす使用者)	車椅子使用者への理解と介助方法 車いすの種類と操作上の注意点/事前課題への取り組み
8	障がい者への理解と介助 (視覚障がい者)	視覚障がい者への理解と誘導方法 点字や指文字/事前課題への取り組み
9	障がい者への理解と介助 (聴覚障がい者)	聴覚障がい者への理解 聴覚障がい者とのコミュニケーション方法/事前課題への取り組み
10	障がい者への理解と介助 (知的障がい者・精神障がい者)	知的障がい・精神障害の定義と概要 知的障がい者・精神障がい者への介助方法/事前課題への取り組み
11	身体障がい者補助犬	身体障がい者補助犬についての理解と身体障がい者補助犬法 身体障がい者補助犬使用者への介助方法/事前課題への取り組み
12	ユニバーサルデザイン	バリアフリーデザインとユニバーサルデザイン 身の回りにあるユニバーサルデザイン/事前課題への取り組み
13	試験	テストを実施
14	事前課題学習	事前課題の返却と復習 定期テストの返却・解答解説/事前課題の復讐を兼ねた小テスト
15	総括	総括 実技講習に向けて

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エアポート英会話 A		
必修選択	選択	（学則表記）	エアポート英会話 A		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	飛行機・空港の英会話		出版社	NOVA ホールディングス株式会社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	グランドスタッフとして働く上で外国のお客様に対応できる英語力を身に付ける
到達目標	グランドスタッフとして接客に必要なビジネス英会話ができるようになる
評価基準	実技テスト：40％ 筆記テスト：30％ 授業態度：30％
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	Darcy Lewis　　実務経験　○
実務内容	英会話講師

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	基礎知識①	お金の数字・通貨・時間の表現について
3	基礎知識②	看板・パスポートの見方について
4	基礎知識③	空港内の設備について
5	出国時①	フライトの情報の確認について①
6	出国時②	フライトの情報の確認について②

7	出国時③	チケットの手配について
8	出国時④	チェックインカウンターについて
9	出国時⑤	手荷物検査・セキュリティチェックについて
10	出庫時⑥	空港アナウンスについて①
11	出国時⑦	空港アナウンスについて②
12	出国時⑧	トラブル発生時の対応
13	出国時⑨	免税店について
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エアポート英会話 B		
必修選択	選択	（学則表記）	エアポート英会話 B		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	飛行機・空港の英会話		出版社	NOVA ホールディングス株式会社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	グランドスタッフとして働く上で外国のお客様に対応できる英語力を身に付ける
到達目標	グランドスタッフとして接客に必要なビジネス英会話ができるようになる
評価基準	実技テスト：40％ 筆記テスト：30％ 授業態度：30％
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	Darcy Lewis　　実務経験　○
実務内容	英会話講師

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	飛行機内①	席・機内アナウンスについて
3	飛行機内②	機内アナウンスについて②
4	飛行機内③	飲み物・機内食について
5	飛行機内④	入国・出国書類について
6	飛行機内⑤	具合が悪い人の対応について

7	飛行機内⑥	緊急時の対応について
8	入国時①	乗り継ぎについて
9	入国時②	入国審査について
10	入国時③	荷物受け取りについて
11	入国時④	税関申告について
12	入国時⑤	両替について
13	入国時⑥	タクシー・交通機関について
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	空港カウンター演習ⅡA		
必修選択	選択	（学則表記）	空港カウンター演習ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	エアラインオペレーション入門改訂版		出版社	株式会社 ANA 総合研究所	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	グランドスタッフとして一人一人のお客様に対応できる応用力を身に付ける		
到達目標	応用力を身に付け、様々な状況において対応できるようになる		
評価基準	実技テスト：40％ 小テスト：20％ 提出物：20％ 意欲・態度：20％		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	エアライン業界総合ⅡA		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	林 美香	実務経験	○
実務内容	航空会社勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	カウンター業務・応用①	UMNR への対応
3	カウンター業務・応用②	乗り継ぎのあるお客様への対応
4	カウンター業務・応用③	超過手荷物の対応
5	カウンター業務・応用④	ペット受託
6	アナウンス実習①	アナウンス実習

7	アナウンス実習②	アナウンス実習
8	到着業務・応用①	到着時のイレギュラー対応
9	到着業務・応用②	到着時のイレギュラー対応
10	アナウンス実習③	到着時のアナウンス
11	アナウンス実習④	到着時のアナウンス
12	ケーススタディ①	様々な背景を想定したケーススタディを実践する
13	ケーススタディ②	様々な背景を想定したケーススタディを実践する
14	まとめ	総まとめ
15	実技テスト	実技テスト実施

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	空港カウンター演習ⅡB		
必修選択	選択	（学則表記）	空港カウンター演習ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	エアラインオペレーション入門改訂版		出版社	株式会社 ANA 総合研究所	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	グランドスタッフとして一人一人のお客様に対応できる応用力を身に付ける		
到達目標	応用力を身に付け、様々な状況において対応できるようになる		
評価基準	実技テスト：40％ 小テスト：20％ 提出物：20％ 意欲・態度：20％		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	エアライン業界総合ⅡB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	林 美香	実務経験	○
実務内容	航空会社勤務経験		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	特別旅客への対応①	特別旅客について
3	特別旅客への対応②	車椅子をご使用のお客様への対応
4	特別旅客への対応③	目の不自由なお客様への対応
5	特別旅客への対応④	耳のご不自由なお客様への対応
6	特別旅客への対応⑤	お子様連れのお客様への対応

7	イレギュラー時の対応①	イレギュラー時の対応を学ぶ
8	イレギュラー時の対応②	イレギュラー時の対応を学ぶ
9	アナウンス実習①	イレギュラー時のアナウンス
10	アナウンス実習②	イレギュラー時のアナウンス
11	アナウンス実習③	イレギュラー時のアナウンス
12	ケーススタディ①	様々な背景を想定したケーススタディを実践する
13	ケーススタディ②	様々な背景を想定したケーススタディを実践する
14	実技テスト	実技テスト実施
15	演習総まとめ	テストの振り返りと後期の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	エアライン業界総合ⅡA		
必修選択	選択	（学則表記）	エアライン業界総合ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	エアポートビジネス入門		出版社	JTB 総合研究所	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	空港旅客業務の基礎知識と空港業務の他職種についての基礎知識を習得する。航空機の機種やメカニズムについての知識を習得する。また、航空輸送の安全と航空保安について学び、安全に対する意識を醸成する。
到達目標	空港旅客業務の内容を理解し説明することができる 空港業務の他職種の業務内容について理解し説明することができる 航空機の機種やメカニズムを理解し説明することができる 過去の事例から安全の重要性を理解し、高い意識を持つことができる
評価基準	テスト：30％ 意欲・態度：30％ 小テスト：20％ 提出物：20％
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	空港カウンター演習ⅡA
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	亀倉 麻紀子	実務経験	○
実務内容	航空会社勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	航空会社の空港業務①	国際線 e-TKT 控えの記載内容について学ぶ
3	航空会社の空港業務②	空港における旅客業務のポイントを学ぶ
4	イレギュラーハンドリング	イレギュラーの種類と会社都合、不可抗力について学ぶ
5	運送約款	国内運送約款と国際運送約款について学ぶ

6	時刻表	各社時刻表の見方と記載内容について確認する
7	クレーム対応	クレームについての理解を深め、対応のポイントを学ぶ
8	運航管理業務・運航支援業務	運航管理業務、運航支援業務の概要について学ぶ
9	整備業務・ケータリング業務	整備業務、ケータリング業務の概要について学ぶ
10	旅客送迎サービス業務	旅客送迎サービス業務の概要と心構えについて学ぶ
11	航空貨物業務	航空貨物輸送の特徴と業務の概要について学ぶ
12	航空会社の仕事	パイロット、客室乗務員、営業、販売・予約、案内のしごとについて学ぶ
13	各単元振り返り	各単元のまとめ、振り返りを行う。
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	エアライン業界総合ⅡB		
必修選択	選択	（学則表記）	エアライン業界総合ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	エアポートビジネス入門		出版社	JTB 総合研究所	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	空港旅客業務の基礎知識と空港業務の他職種についての基礎知識を習得する。航空機の機種やメカニズムについての知識を習得する。また、航空輸送の安全と航空保安について学び、安全に対する意識を醸成する。
到達目標	空港旅客業務の内容を理解し説明することができる 空港業務の他職種の業務内容について理解し説明することができる 航空機の機種やメカニズムを理解し説明することができる 過去の事例から安全の重要性を理解し、高い意識を持つことができる
評価基準	テスト：30％ 意欲・態度：30％ 小テスト：20％ 提出物：20％
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	空港カウンター演習ⅡB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	亀倉 麻紀子 ／ 実務経験：○
実務内容	航空会社勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 航空業界の最近の話題	航空業界の最近の話題について学ぶ
2	航空自由化	航空協定、オープンスカイ協定について学ぶ
3	航空機の基本構造①	航空機の基本構造と仕組みについて学ぶ
4	航空機の基本構造②	航空機の基本構造と仕組みについて学ぶ
5	飛行のメカニズム	飛行の原理について学ぶ

6	航空気象	離着陸に及ぼす気象条件について学ぶ
7	航空輸送の安全①	航空輸送の安全について学ぶ
8	航空輸送の安全②	JL123 便の事故について学ぶ
9	航空保安①	保安対策基準の脅威レベルについて学ぶ 空港のセキュリティ対策について学ぶ
10	航空保安②	アメリカ同時多発テロ事件について学ぶ
11	航空保安③	全日空ハイジャック事件について学ぶ
12	エアライン業界の今後	エアライン業界の今後について学ぶ
13	各単元振り返り	各単元のまとめ、振り返りを行う。
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	インターンシップⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	インターンシップⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	60
使用教材	なし		出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる
評価基準	企業側評価 75 点（評価表にて採点）、学校評価 25 点（レポート）
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	なし
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	林 美香　　実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	インターンシップⅢ		
必修選択	選択	（学則表記）	インターンシップⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	60
使用教材	なし		出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる
評価基準	企業側評価 75 点（評価表にて採点）、学校評価 25 点（レポート）
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	なし
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	林 美香　　実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります